

平成18年度国民保護図上訓練の検証結果および今後の対応について

国民保護図上訓練の結果を分析し、国民の保護に関する措置に係る課題等を抽出するため、県では以下の方法により検証を実施した。

○検証の実施方法

- ①訓練参加者に対するアンケート
- ②外部機関による訓練の評価

○訓練の成果等

- ・訓練の実施により、国民保護について「理解できた」または「だいたい理解できた」という参加者が、実施前と比較して24.4ポイント上昇。(アンケートより)
- ・訓練参加者の約93%が、担当業務の「参考になった」または「だいたい参考になった」と回答。(アンケートより)
- ・特定部門に業務が集中し一時滞ったが、他部門が支援し臨機応変に対応できた。(訓練評価より)
- ・事務局において、マイクを使用して連絡事項を報告することにより、事務局内の情報共有が図られた。(訓練評価より)

○明らかになった課題と対応

課 題	対 応
<p>【人員配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況を見て人員の配置を指示する人がいるとよい。(アンケートより) ・柔軟に対応できる本部組織とする必要が感じられた。(訓練評価より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災班長が状況に応じて他部門の支援を指示することとし、支援体制のパターンをあらかじめ作成する。
<p>【情報管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報管理の責任者を指定し、情報の重要性を評価するとともに、適切に管理することが必要。(訓練評価より) ・住民の安全、安心情報をどのように、どのタイミングで出していくか広報戦略が必要。(訓練評価より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の管理、評価は事務局長が行う。 ・広報戦略は報道管理者が中心となって検討する。
<p>【会議の目的の明確化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の意思決定と連絡事項の徹底は目的が違うため、はっきりと分けた実施が必要。(訓練評価より) ・会議資料が多い。(訓練評価より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・対策本部会議の開催前に部門長会議を実施し、連絡事項の徹底を行うとともに、対策本部で決定すべき事項やそのために必要な資料について整理する。
<p>【対応方針の周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策本部として何を優先するかという対応の方針を、職員に理解させておくことが重要。(訓練評価より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練参加職員などを対象に研修会を実施し、訓練の検証についても情報を共有する。

【訓練の方法に関する意見】

- 今回は市町の対策本部も同じ部屋で訓練を実施したが、実際に各本部で訓練してはどうか。(アンケートより)
- 何を判断しなければならないのか、案としてどのようなものがあるか、なぜその案が採用されないのか等を会議で検討する一点集中型の訓練も必要ではないか。(アンケートより)
- 本来業務の訓練のほかに、相互に補完できる訓練も検討してはどうか。(訓練評価より)

【その他の検討すべき事項】

- 文書の発送業務、FAXの送信記録を一元管理して重要事項の伝達漏れや遅れの発生防止を図る必要がある。(訓練評価より)

